

出向による人材交流・育成の事例

- 営業休止期間を活かし、出向による人材教育、人材活用、職場の活性化や職場のレベルアップにつなげる事ができた事例

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	温泉旅館（中小企業）	ホテル・サービス業（中小企業）
出向者の職種	旅館支配人、営業部長	ホテルレストラン部門管理者、運営全般のマネジメント業務

【出向の経緯】40歳台、50歳台のケース

送出企業

- ・耐震工事で建て替えのため1年強休業することになった。老舗旅館の伝統あるサービスを提供するために支配人と営業部長については建替後に戻ってもらう必要があり、出向先を探すこととなった。
- ・受入先の環境や条件が能力開発（最新型ホテルのすぐれたサービス等を学ぶ）に最適と考え出向させることとした。

受入企業

老舗旅館からの出向であり、自社のスタッフのスキルアップにも繋がると考え、初めての出向受入に応じた。

産業雇用安定センター

依頼を受け受入企業を探していたところ、老舗旅館とは全く違う最新型のリゾートホテルが見つかり、アプローチしたところ出向受入の承諾が得られた。

- 出向を活用し後継者育成を図ることができ、将来に向けて有益な企業間交流ができることになった事例

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	冷凍調理食品製造業（中小）	加工食品製造業（大）
出向者の職種	保存食品・冷凍加工食品製造工	保存食品・冷凍加工食品製造管理

【出向の経緯】20歳台のケース

送出企業

- ・食品提供企業として、食品安全システムの導入を図る必要があると考え、実施している企業で従業員（幹部候補）を学ばせたいとセンターに相談をした。
- ・出向者は受入企業で工場を巡り実務研修を受けることで、食品安全システムの重要管理ポイントや従業員の労務管理等を学ぶことができ、自社に戻った際にこれらの経験を活かすことができる。また、受入企業の幹部社員との人脈を構築することもできる。

受入企業

将来の幹部候補社員を受入れることにより、企業間の連携を強化することができるため、出向受入に応じた。

産業雇用安定センター

相談を受け既に食品安全システムを導入している企業に、出向者の受入が可能か検討依頼をした結果、出向受入の承諾が得られた。

- 送出企業の事業拡大の準備のための人材教育と、受入企業の人材確保のニーズがマッチし、互いに人材交流も図ることができた事例

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	医薬品・化粧品小売業（大）	一般病院（中小）
出向者の職種	調剤薬局管理	薬剤師

【出向の経緯】40歳台のケース

送出企業

- ・高齢の在宅医療患者が必要とする、無菌製剤を調剤できる「無菌調剤薬局」を作りたいと考えているため、調剤薬局部門の責任者を、既に実施している病院内の薬局に短期間の出向をさせ、そのノウハウ等を学ばせ、「無菌調剤薬局」の体制づくりを進めたい意向をもっていった。
- ・出向者は社命を受け、初めての病院薬剤師業務でスキルアップできると意欲的である。

受入企業

薬剤師の育成に積極的な社風で、独自に「病院薬剤師業務の研修カリキュラム」も作成しており、外部からの研修受入にも前向きで出向受入に応じた。

産業雇用安定センター

送出企業からの教育出向を受入企業へ提案したところ、3か月程度の研修期間で、薬剤師教育を引き受けることになり、出向手続きを進めることになった。

出向によるキャリア・ステップアップの事例

- 送出企業の事業再編に伴う配置転換の際に、出向者から培ってきた技術を活かせる部門への希望があり、社外勤務を視野に入れ幅広く人材の適正配置を行い、出向者のキャリア・ステップアップに繋がった事例

■スキル・経験：設計開発技術、海外での生産・品質管理経験

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	通信機器器具製造業（大企業）	精密板金加工業（中小企業）
出向者の職種	生産技術管理職（担当部長）	工場長

【出向の経緯】50歳台のケース

送出企業

配置転換面談時に、出向者からこれまでのスキルを活かせる部門への配置転換希望が出されたが、社内に適職がないことから、社外勤務（出向）先を探すことになった。

出向者

面接を通して、17年間に及ぶ海外子会社での業務経験が、今回の新業務の中で十分活かせる、職務領域も広がり、キャリアアップにもつながると判断し、業種の異なる事業分野への挑戦を決意するに至った。

受入企業

工場長の定年退職に伴い、高品質の板金技術の伝承と工場の「生産管理体制の革新」「安全・環境管理レベル向上」等の推進が出来る経験者を探していたため、出向者を受入れることにした。

- 送出企業の事業再編を機に将来に向け、これまでのキャリアや資格を活かして社外で活躍したいとの希望があり、社外勤務先を探した結果、高等教育機関へのキャリアチェンジが実現した事例

■スキル・経験（資格）：半導体関係のエンジニア、（工業高校教員免許）

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	電子デバイス製造業（大企業）	高等教育機関（大企業）
出向者の職種	電気・電子・電気通信製造技術者	電気、電子情報の職業訓練指導業務

【出向の経緯】40歳台のケース

送出企業

面談時に、出向者から将来に向けてキャリアや資格を活かして社外で活躍したいとの希望が出され、社外勤務先を探すことになった。

出向者

長年開発業務に携わってきた経験と、保有している教員免許資格を活かすことができる職業訓練指導員に応募することにした。興味分野へのキャリアチェンジ、職務領域拡大によるキャリアアップに繋がることが応募の動機となった。

受入企業

職業訓練指導員に欠員が出たため、民間企業で電気・電子情報業務を10年以上経験した人を探しており、適任者として出向者を受入れることにした。

- 新規事業展開に伴う配置転換面談時に家族とともに実家のある関東圏に戻り、経験やスキルを活かし更なるキャリアアップを図りたいとの希望があり、社外勤務先を探した結果、希望に合った出向先が見つかった事例

■スキル・経験：設計開発技術、海外での生産・品質管理経験

	送出企業	受入企業
業種（企業規模）	医療用品製造業（大企業）	貸事務所業（中小）
出向者の職種	医薬品営業員	課長相当職

【出向の経緯】50歳台のケース

送出企業

面談時に出向者から、家族とともに実家のある関東圏に戻り（現在広島勤務）、これまでの業務経験やスキルを活かし、社外で長期間働き、更なるキャリアアップを図りたいとの希望が出され、社外勤務先を探すことになった。

出向者

これまでの営業職（医薬品MR）の経験やスキルが十分活かせる、希望する長期間働ける勤務（60歳以降も働くことができる）ができ、勤務先も関東圏であることから、今回のUターン出向を決意した。

受入企業

ショッピングセンター事業部門の課長（56歳）の後継者育成を目的として、対外折衝経験等の豊富な人材を求めていたことから、出向者を受入れることにした。